

Course number		U-LAS70 10003 SB50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー（海外）：中国雲南省における持続的農業		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Agriculture		
	ILAS Seminar (Overseas) :Field survey to study the sustainable agriculture in Yunnan Province of China			Associate Professor,KUMAGAI HAJIME Kyoto University Not fixed		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Hours	30
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・Intensive, Second semester		Quota (Freshman)	12 (12)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods	Intensive TBA
Classroom	West wing, Faculty of Agriculture Main Bldg. (North Campus)				Language of instruction	Japanese and English
Keyword	中国 / 農業 / 環境 / 文化 / 食生活					
[Overview and purpose of the course]						
<p>本プログラムは、京都大学農学研究科と中国昆明理工大学との間で2006年に締結された部局間交流協定に基づいて2007年から開始した短期学生交流プログラムに基づく中国雲南省への派遣である。本プログラムの目的は、優秀な京大生を派遣し、相手国および自国の農業と環境の実態を正しく把握することを介して両国の自然・文化・社会環境をよりよく理解し、国際感覚を涵養することである。</p> <p>プログラムでは、両国の農業と環境の実態を正しく理解するため、農村における河川水の採取・分析と汚染の要因解析の実施と農村での聞き取り調査を含むフィールドトリップおよび社会・文化に関する施設見学と講義・討論を組み合わせた独自の研修を実施する。研修の実施においては、派遣先の教員だけでなく両国の学生が行動を共にし、両大学の学生の交流を図る。研修の終わりには、研修の成果を両大学の学生がグループごとに共同して取りまとめ、発表会を行う。</p>						
[Course objectives]						
<p>本プログラムの実地研修により、参加学生が過度に集約化された中国農業と環境に配慮した日本農業との違いや両国の異なる自然・社会・文化環境を実感することを目指す。研修は基本的に英語で行うため、京都大学の学生にとっては国内での英語学習の成果を確認できること、英語でのコミュニケーションに慣れることも目標となる。学習の成果は、研修期間の最後に行なう発表会により確認する。</p>						
[Course schedule and contents]						
<p>部局間協定大学である昆明理工大学の協力のもと、下記の授業を行う。現地研修での使用言語は基本的に英語であるが、一部、中国語と日本語間の通訳がある。</p> <p>1.事前講義（7，8月に4回） 中国南西部の農業システムの変化 ～ 野外調査の基礎（水質分析法、農家調査法、GPSを利用した野外調査法）</p> <p>2.現地研修（9月に10日間） 講義「昆明市における農・畜産業と水質汚染」昆明理工大学 IRBIS教授 ～ 野外調査 都市と農村における生活実体験（昆明市） 農・畜産業と都市による水系汚染の実態調査（昆明市） 持続的農業と環境修復技術の実態調査（昆明市とその周辺） ～ 水質分析と解析（昆明理工大学）</p>						
Continue to ILASセミナー（海外）：中国雲南省における持続的農業(2)						

ILASセミナー（海外）：中国雲南省における持続的農業(2)

～ 成果発表 研修レポートを作成と発表（昆明理工大学）
3.フィードバック（帰国後に実施）

[Course requirements]

参加者は、海外渡航資金を工面できること。必要な資金の詳細は4月に行われるオリエンテーションの時に説明する。参加者は自己責任の原則を自分と両親が了承し、必要な保険等を掛けること、海外滞在リスクを充分認識し自らを律することができること。学生教育研究災害傷害保険に加入していること。受講定員を超える受講申込があった場合は、選考を行う。8月に予定する中国側交換学生の受け入れ行事へ参加すること。受講者は、事前講義へ必ず参加すること。

[Evaluation methods and policy]

事前講義、現地研修への参加状況および研修レポートと発表状況により総合的に判断する。

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

成果発表のため、PowerPointの使用に慣れておくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

- ・募集定員は12名であるが、定員に余裕があれば2、3回生も募集対象
- ・成績報告は、開講日（9月上旬）以降になる

本科目は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、不開講となる可能性があります。